



IDF PRESS RELEASE

IDFプレスリリース

2019年4月11日、パリ、ローマ、ブリュッセル発

酪農生産における適正な動物福祉（アニマルウェルフェア）に関する最新版 IDF ガイドを発表

Updated IDF Guide to Good Animal Welfare in Dairy Production Released

本日、パリで開催中の国際獣疫事務局（世界動物保健機関；OIE）世界動物福祉フォーラムにおいて、国際酪農連盟（IDF）は OIE および国際連合食糧農業機関（FAO）と共同で、[酪農生産における適正な動物福祉に関する最新版 IDF ガイド](#)を発表した。

この新しい出版物は、世界規模での酪農生産における適正な動物福祉慣行の実施を推進する。この出版物は、重要な国際規格を参照し、酪農家と乳加工業者が科学的証拠と専門知識に基づいて適正な動物福祉慣行を解釈し、実行することを助けるためのガイドラインを提供する。重要なことは、在庫管理、飼料と水、物理的環境、畜産慣行と健康管理を含む、酪農動物福祉のための品質管理システムを開発し、実行する際に考慮されるべき 5 つの行動領域を特定していることである。

「酪農家は、健康な乳牛が良質の牛乳を生産することを知っており、酪農乳業セクターは、全世界の消費者に安全、栄養豊富で、保障された乳製品を提供する動物の健康・福祉に関するイニシアチブの開発を全面的に約束している。」と、IDF 事務総長の Caroline Emond は述べた。「私たちは、動物、酪農家、および社会に利益をもたらす動物福祉の専門知識の開発に貢献できることを誇りにしている。」

「私たちは、乳牛の動物福祉に関する IDF ガイドラインの新版を歓迎する。それは、陸上動物の福祉に関する OIE の国際規格に沿って、家畜生産システムに対する高いレベルの福祉への私たちの社会の高まる需要を満たすために、酪農乳業を確実に支援す

る。」と、OIE 事務総長の Monique Eloit 氏は述べた。

「私たちは、生産者、生産者の動物、そして社会全体に利益をもたらす適正な動物福祉慣行の重要性を認識し、いくつかのステークホルダーと協力して、さまざまな意識向上および能力開発活動を通して彼らによる実施を支援する。」と、FAO 事務総長補佐の Bukar Tijani 氏は述べた。「この出版物は、酪農動物の福祉向上および本セクターの発展に向けた貴重な一歩だ。」と、Tijani 氏は付け加えた。

2008 年の動物福祉に関する IDF ガイドおよび国際機関（OIE、FAO）との緊密な連携に関する出版物によって、IDF は酪農乳業セクターのための動物福祉に関する基準文書の策定にリーダーシップを取った。それ以来、動物の健康と福祉に対する公衆の意識が高まっている。IDF は、OIE および国際標準化機構（ISO）の動物福祉に関する活動に積極的に貢献している。酪農生産における適正な動物福祉に関する最新版 IDF ガイドは、この共同作業の重要な部分となっている。

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。